2012
版

安全報告書

～安　全　へ　の　取　組～

平成２５年９月

ICHBATA

一畑電車株式会社

も　く　じ

１．利用者はじめ地域の皆様へ

社長ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（３）

２．安全確保に関する基本方針と目標

（１）安全基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（４）
（２）２０１３年度安全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（４）

３．輸送の安全の実態（２０１２年度の事故等発生状況）

（１）鉄道運転事故・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５）
（２）輸送障害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５）
（３）災害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５）
（４）インシデント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５）
（５）行政指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５）

４．安全重点施策の内容

（１）安全重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５）
（２）修繕費・設備投資額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（６）
（３）社員教育・訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（６）
（４）安全対策委員会及び幹事会の活動・・・・・・・・・・・・・・・（７）

５．安全管理体制

（１）安全管理組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（８）
（２）各管理者の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（８）

６．地域の皆様へお願い

（１）踏切事故防止にご協力ください・・・・・・・・・・・・・・・（９）
（２）線路でのいたずら防止にご協力ください・・・・・・・・・・（１０）
（３）こども１１０番の駅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（１０）
（４）ご意見箱の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（１０）

７．お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（１０）

１．利用者はじめ地域の皆様へ

平素より、当社鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、各事業年度における安全の取組の実績、その他安全に関する情報について、公表するものでございます。

２０１２年度、弊社は国土交通省中国運輸局によって、３年ごとに実施されます運転保安監査、並びに運輸安全マネジメント評価を受けました。常日頃より全従業員が基本方針にもありますとおり、安全の確保を最優先として取り組んでおりますが、改めて安全への誓いを新たにしたところでございます。

本年度も全従業員が一丸となり、より一層の安全性の向上に努め、有責事故０を目標に不断の努力を続ける所存でございますので、皆さまのご理解をいただきますと共に、ご意見もお寄せいただければ幸いです。

ICHBATA
一畑電車株式会社
代表取締役社長　昌子　修

２．安全確保に関する基本方針と目標

（１）安全基本方針（行動規範）

当社の基本方針は、「安全・安定的な輸送サービス」を提供することを第一義とし、社長以下全社員に対して次のとおり安全に係わる行動規範を定め周知・徹底を図っています。

①安全の確保を最優先とし、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
②輸送の安全に関する法令及び関係する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
④職務の遂行に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑いのある時はもっとも安全と思われる取扱いを行います。
⑤事故又は事故のおそれのある事態、災害、その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある事態が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、相互に協力して速やかに安全かつ適切な処置をとります。
⑥安全に係わる情報は、迅速かつ正確に関係箇所に伝え、その共有化を図ります。
⑦常に問題意識を持って行動し、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

（２）２０１３年度安全目標

当社においては２０１３年度安全目標を次のとおり定めています。

項　目	内　容
鉄道運転事故	有責事故を発生させない
インシデント（事故の兆候）	発生させない

３．輸送の安全の実態（２０１２年度の事故等発生状況）

（１）鉄道運転事故

２０１２年度、運転事故（自動車運転手の過失による踏切障害）が２件発生致しました。

（２）輸送障害（３０分以上の遅延または運休）

２０１２年度、弊社における輸送障害は、車両故障による障害が５件、鉄道施設による障害が１件発生致しました。

ご利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、お詫び申し上げます。

（３）災害（地震、風雨等による被害）

２０１２年度、弊社における災害による事象は６件発生いたしました。

（４）インシデント（事故の兆候）

２０１２年度、インシデントは発生しておりません。

（５）行政指導

２０１２年９月、国土交通省中国運輸局の保安監査において指示及び勧告事項がありました。これらについては、早急に改善策を策定し既に改善いたしました。

４．安全重点施策の内容

（１）安全重点施策

２００６年度から沿対協の補助体制が変わり、今までの運行維持補助金から、設備の修繕・維持・更新にかかる経費を算出根拠とする基盤設備維持補助金に変更になりました。また地域公共交通確保維持改善事業費補助金による設備投資も含め、安全に係わる投資は次のとおりの結果及び計画です。

項　　目	２０１２年度実績	２０１３年度計画
線路側溝改築	１３４m	１５０m
橋梁改修	４箇所	２箇所
道床交換	１,４２１m	１,５４５m
袖石垣改修	２箇所	－
土留壁改修	５５m	－
レール交換	２９９m	１９８m
継目落対策	４００箇所	３７０箇所
踏切制御用送受信器更新	７６台	７４台

踏切遮断機更新	５機	―
信号機ＬＥＤ化	６機	５機
継電連動装置更新	２箇所	２箇所

（２）修繕費・設備投資額

２０１３年度沿対協による基盤設備維持補助金は、１億２,３００万円、地域公共交通確保維持改善事業費補助金は、４億５００万円でした。

道床交換作業

踏切遮断機更新作業

（３）社員教育・訓練

２０１２年度安全に係わる教育及び訓練は次のとおりです。

添乗教育、運転取扱教育、異常時対応教育（机上）、定期考査及び法令教育等の教育を行いました。訓練につきましては、毎年参加しておりますＪＲとの合同訓練、社内総合事故対応訓練を実施いたしました。その他の取組といたしましては、全従業員を対象として、普通救命講習を受講いたしました。又、本年度は運転関係従事員を対象とした適性検査も併せて実施しております。

総合事故対応訓練風景

安全対策講習会風景

ＪＲ西日本米子支社合同事故対応訓練風景

（４）安全対策委員会及び幹事会の活動

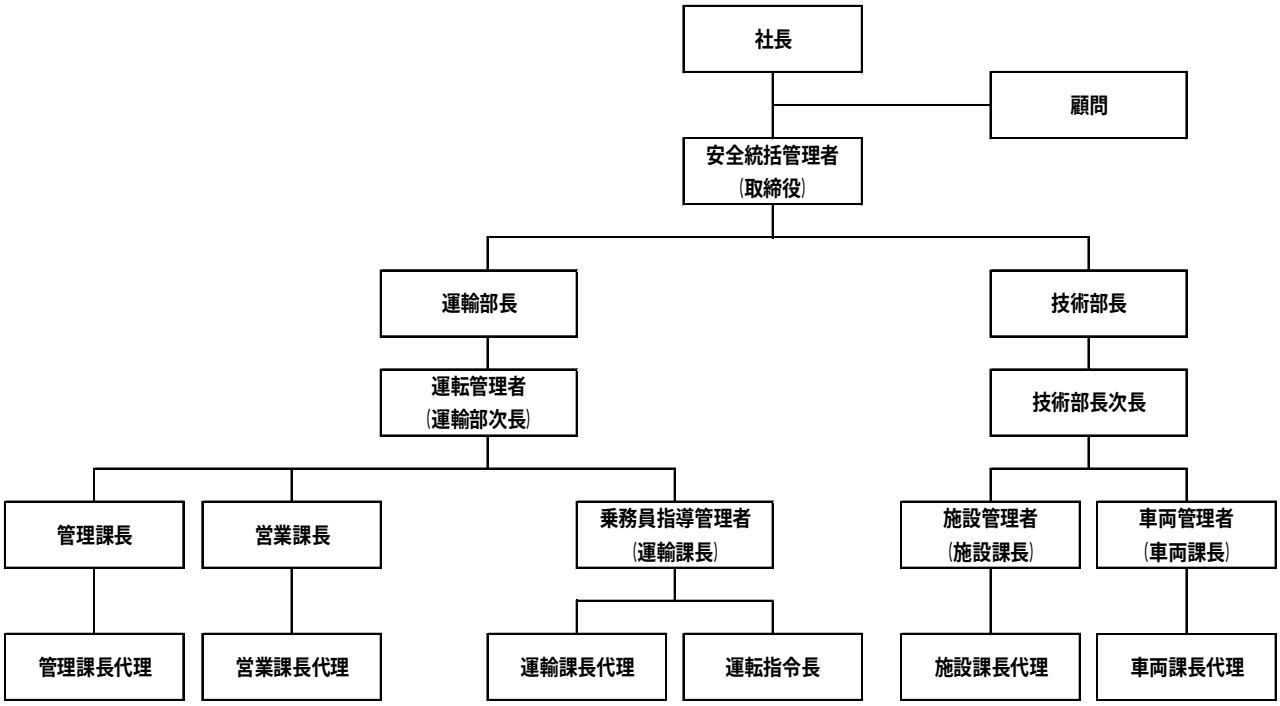
事故の未然防止を目的として、自社及び他社で発生した事故事例または、ヒヤリハット事例を教材として、社長以下管理職で構成した安全対策委員会を毎月１回開催いたしました。また、この下部組織として現場係員を中心とした幹事会も設置し、現場の意見が上層部に伝わりやすい体制を構築し、２０１２年度も精力的な活動を展開いたしました。

社内に設置した安全目安箱

５．安全管理体制

（１）安全管理組織

２００６年１０月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築して運用いたしました。



（２）各管理者の役割

役　　職	役　　割
社　　長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 取締役	輸送の安全に関する業務を統括する。
運転管理者 運輸部次長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 運輸課長代理	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。

施設管理者 施設課長	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 車両課長	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
技術部長	安全統括管理者の指揮の下、施設及び車両に関する事項について、相互の部門間の整合性を確認するとともに、輸送の安全の確保をするため、各部門を統括管理する。
技術部次長	技術部長の指揮の下、施設及び車両に関する事項を掌握し、運行計画との整合性を検証し統括する。
運輸部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送業務の実施及び管理方法を確認し、輸送の安全の確保に必要な事業計画に関する事項を統括する。
運輸部次長	運輸営業部長の指揮の下、安全対策及び事故防止に関する事項を統括する。

６．地域の皆様へお願い

（１）踏切事故防止にご協力下さい。

２０１２年度においても、踏切での一旦停止及び左右の安全確認を怠ったことが原因による直前横断等が１０件、踏切遮断桿の折損等が１６件発生しています。これらにつきましては、いずれも重大事故には至っていませんが、このような状況は列車の定時運行に影響を及ぼし、利用して頂く乗客の皆様に多大なるご迷惑を与えると共に、踏切を横断される方の死傷事故にも繋がる行為です。踏切では必ず一旦停止され、安全を確認の上お渡りください。

踏切事故防止キャンペーン（街頭指導）

踏切非常押しボタン

（2）線路でのいたずら防止にご協力下さい。

線路内での置石や投石などのいたずらは、刑法第十一章「往来を妨害する罪」に問われます。線路施設内には入らないよう、また障害を発見した場合は直ちにご連絡をお願い致します。

（一畑電車　運輸課　０８５３－６２－３０２１）

（3）こども１１０番の駅

当社の有人駅では、「こども１１０番の駅」の取組みを行っています。この取組みは、こどもが助けを求めてきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって１１０番通報を行います。また、被害にあった時だけではなく、日頃から安全・安心への配慮と安全・安心な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しくフレンドリーな優しい駅を目指しています。

実施駅……松江しんじ湖温泉駅、一畑口駅、雲州平田駅、川跡駅、電鉄出雲市駅
出雲大社前駅

（4）ご意見箱の設置

当社では、利用者の皆様の声をお聞きするために、有人駅（８駅）にご意見箱を設置し安全及びサービスの向上に反映させています。

７．お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社への取組みに関するご意見は下記までお寄せ下さい。
皆様からのご意見お待ちいたしております。

一　畑　電　車　株　式　会　社
TEL　０８５３－６２－３３８３　　FAX　０８５３－６２－３３８４
E－mail　　tetsudou@densya.ichibata.co.jp
■　月～金　９：００～１７：００（年末年始を除く）